

わたしの 妊娠報告書

記載日 平成25年 4月 9日

おめでた宣言日	平成 25 年 3 月
年齢 (36) 歳	平成 (15) 年 (9) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(3) 年 (2) ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="radio"/> なし あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (3) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (4) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (6) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (1) 回 胚盤胞移植 1回	
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 (4) 回 胚盤胞移植 5回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

- ・思い話めない。
- ・カフェインをとりすぎない。
- ・湯舟にゆくりながら体を温める。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

元々、採卵しても取れる数が少なく、胚盤胞まで育つ卵が0~2で、何度も採卵しないといけませんでした。排卵誘発剤の注射も効かなくなってきた時に、クロミッドでの排卵誘発に加えて、わりにもすがる思いで、レカルニンのサフォリを飲み、その効果は不明ですが、結果、1つだけ採卵でき、その卵で妊娠に至りました。他には、2回流産した後の検査で血栓ができやすい体質だとわかり、ヘパリンを自宅で注射しています。せめて1回目の流産の時に不育症の検査をしていたらいいと、自分の勉強不足を後悔しました。

その他（通院・治療費・家族など）

通院の苦痛はありませんでした。むしろ、次の通院の日まで間があいている時のほうが悶々としていたので、治療の事ばかり考えず、他の事に打ち込むようにしました。治療費は、申請できる助成は、フルに活用し、医療費控除も確定申告して、少しでも補うようにしました。家族については、主人が治療に前向きで、楽天的だけれども協力的だったので助かりました。同居していた義母にも治療している事を話しましたが理解を得られず、ストレスがたまったので、別居しました。

治療中の方へのアドバイス

治療を始めた頃は、そのうち換かるだろうと悠長に構えていましたがステップアップがないとわからなかった原因もあり、月日はとんとん過ぎて、いろんなりリスクが増えていったので、今思えば、ステップアップをもう少し早くしていれば良かったと思います。気持ちだけあせてもどうにもなりません。自分で情報を集めて、自分達がどう治療を進めたいかをよく考える事も必要だと思います。悔いのないようにがんばって下さい。

スタッフへのご意見など

中山先生、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。中山先生は、今回ダメでも次回に希望がもてるように、次の手を考えて下さるので、あきらめずに、治療を続けることができました。看護師さんは、いつも親身になって温かい声をかけて下さり、何度も気持ちが救われました。受付の方々もいつも丁寧に説明していただき、とても気持ちの良い対応でした。ASKAのおかげこそ、長い治療も続けられたのだと思っています。ありがとうございました。